

豊橋西高等学校では、本年度の基本目標を「授業・学校行事・部活動・生徒会・ボランティア活動等を通し、自尊の感情と自己有用感を育て、心豊かな活力ある生徒の育成」、「安全・安心で信頼される学校を目指し、日々努力を続ける活気ある学校づくりの推進」、「普通科の中でのコース制（情報活用コース）及び外国人制選抜を踏まえ、進学型かつ地域密着型の特色ある学校作り」と定め、分野別に重点目標を設定し、その達成を目指して努力してきました。年度末にあたり、2学期末に実施しましたアンケート結果（教職員・生徒・保護者）と、中学校の先生方や学校評議員の方々の御意見を踏まえて、この1年間の取組の成果と反省をまとめました。（四角枠内は本年度重点目標です）

〈学習指導〉～学習習慣の確立と学力向上を目指して～

○ 家庭学習を定着・増加させる。

学習時間の調査では、考査2週間前と1週間前で学習時間に大きな差がみられた。考査直前に詰め込み学習をしている生徒が多い可能性が考えられ、日々継続して学習できるようなはたらきかけが必要である。

家庭学習に関するアンケート結果を見ると、課題や小テストのための勉強しかしない生徒が多く、主体的に学ぶ姿勢をもつ生徒が少ないようである。特に1年生はその傾向が強いため、1年生のうちから主体的に学習に向かわせる方策を検討していきたい。

〈教育情報〉～情報セキュリティの向上を目指して～

○ 情報機器を安全に運用する。

定期的にネットワーク上の電子データの点検などを適正に行い、校内のネットワークを問題なく運営した。

教員に対して、情報機器の扱い方や管理方法に関する現職研修を行った。特に、プロジェクトの様々な使い方を紹介し、積極的かつ安全に利用してもらえるよう呼びかけた。

今後も安全な運営のための方策を提案できるように情報収集等を行っていく。

〈進路指導〉～夢の実現を目指して～

○ キャリア教育や面接試験指導を充実させ、地元企業や大学等、地域と連携して人材を育成する。

学校から生徒・保護者に向けての進路情報を提供する機会として、外部講師を招いた進路講演会、ちがいは講座、ラーニングフェスタ、看護体験、インターンシップ、PTA大学見学会等を実施した。親子が家庭内で進路情報を共有し、進路実現への夢がよりよい形となることを目指している。

3年生で面接試験が必要となる生徒（進学・就職）に対し、全職員で面接対策個別指導に取り組み、個に応じた指導を施すことができた。次年度以降も継続して実施していくことが必要である。

自己の進路目標を早期に設定し、目標の実現に向けて、自己の学習への取組や生き方在り方を真摯に考えさせることが重要である。

〈生徒指導〉～基本的な生活習慣の確立を目指して～

○ けじめある生活を送れるようにさせる。

○ 命の大切さを教え、交通ルールを遵守させる。

○ いじめの未然防止と、早期発見に努める。

けじめある生活を送らせるための一環として、生徒が家を出る前に身だしなみを整え、余裕を持って始業に間に合うように登校することを目指した。その方策として、制服チェックカードを用いての普段からの指導や、全体集会や爽やかキャンペーンでの身だしなみ指導を行った。また、正門前にて始業5分前の校門遅刻指導を行った。その結果、多くの生徒が落ち着いて学校生活を送ることができた。

命の大切さを教えるために、まず自分の命を守る教育、交通安全指導に力を入れた。その方策として、ゼロの日の交通立番や毎日の登校指導、外部から連絡を受けた危険箇所での指導などを行った。その結果、自転車で登下校しながらの携帯電話やイヤホン、並列走行、信号無視などが少なくなった。

いじめの未然防止と早期発見に関しては、年3回、西高生の実態調査を行い、いじめに関する意識を高めた。

〈生徒会〉～生徒会活動の充実を目指して～

- 学校生活（HR活動、生徒会活動、部活動）において、生徒が自ら考え積極的に活動する学校を目指す。

生徒会通信を保護者向けに発行することで、バルビューハイツでのボランティアや、歳末たすけあい募金などの生徒会活動をよりオープンなものにすることができた。現在は、生徒会活動がホームページに掲載されていないので、次年度はより多くの方の目に触れるように掲載していきたい。

〈PTA活動〉～PTAの充実を目指して～

- 持続可能なPTA活動体制づくりを進める。

PTAの専門部会を統合するとともに、各部会の役割を整理した。これによって専門部会ごとの任務が明確になり、活動に取り組みやすくなった。

ちきり祭のPTAバザーは、PTA役員・理事が計画段階から意欲的に関わり、当日も多くの理事が参加して活況を呈した。

今後は、引き続きPTA活動のあり方に検討を加えるとともに、会員が計画決定までの過程や作業内容について情報を共有できるような仕組みをつくり、さらに活動を分かりやすくしていきたい。

〈防災学習〉～防災学習の充実を目指して～

- 防災体制を見直す。

防災学習は、緊急時に想定されるさまざまな場面で、教員・生徒が安全を確保する行動が的確に取れるように工夫した。まず、防災訓練は、大地震が発生して避難中に再度大きな揺れに襲われた、という想定で実施した。また、シェイクアウト訓練を生徒に予告せずに実施した。いずれも実践的な訓練になった。

今後は、風水害や火災なども想定するなど、より効果的な防災学習を続けていきたい。

〈学校保健〉～落ち着いた学ぶことのできる教育環境を目指して～

- 生徒が落ち着いた学ぶことのできる学習環境の充実に努める。

朝の健康観察では、生徒の申し出によって個々の生徒の健康状態を確認している。その後、必要に応じて、相談担当の教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門スタッフと連携して、保健指導や相談指導を実施している。また、要望がある時には保護者との面談も行った。

清掃時には、環境美化委員がゴミステーションで分別の呼びかけを行っている。生徒が呼びかけを行うことで、校内美化・ゴミの減量化に対する意識が高まってきている。今後もさらに環境美化に力を注いでいきたい。

〈図書館活動〉～読書活動の充実を目指して～

- 生徒の知性や人間性を育むため、図書館利用や朝の読書活動を充実させる。

今年度より、各クラスに「朝読文庫」を設置して活動を充実させることが出来た。「朝読」が継続的な読書につながるよう定着させていきたい。図書館の受入図書については、各教科から推薦してもらった書籍を積極的に生徒に薦めている。しかし、図書館を自主的に利用する生徒は限定されているので、幅広い生徒が活用できる方策を練るのが今後の課題である。

〈現職研修〉～教職員の資質向上を目指して～

- 各研修、業務の意義を踏まえ、円滑に実施できるよう努める。
- 多忙化解消に向けて、ワークライフバランスを意識した職場環境整備に努める。

現職研修では、各分掌の協力を得て、より実践的な形で行われ有益であった。授業参観（第2回）では、昨年度に引き続き中学校教員を招いたところ、落ち着いた授業態度や外国人取り出し授業の丁寧な支援の様子に好意的な感想をいただいた。

多忙化解消については様々な働きかけがあるが、いまだ十分とは言えない。今後ともワークライフバランスを意識した環境整備・研修ができるよう検討していきたい。

豊橋西高校のホームページを御覧ください。
(<http://www.toyohashinishi-h.aichi-c.ed.jp/>)
学校行事の予定、活動の様子等を紹介しています。